

# JaNet

July 2015 No. 74

季刊ジャネット

Ja-NetはJapanese Networkの略です。「にほんご」を通して編集室と読者の皆様を結ぶ情報誌にしたいと考えています。

Contents 目次

2015年7月25日発行

- View from the Other Side ..... 3  
エンピ・カンドレルさん(ネパール)
- あちこち日本語ご紹介(国内編)..... 4  
宮城県 名取市
- あちこち日本語ご紹介(海外編)..... 5  
インド ケララ
- 教材紹介 ..... 6  
『イラスト満載! 日本語教師のための活動アイディアブック』  
みんなちえっかー(仮)
- なんでも情報BOX..... 8

スリーイーネットワーク

巻頭  
寄稿

## 女性博士人材のキャリア支援と これからの人材養成



砂田 薫

お茶の水女子大学  
お茶大アカデミック・プロダクション特任准教授

### 女性博士人材のキャリア開発プログラム

タイトルからして、ニッチな仕事を見事に露呈してしまっていますが、それはフロンティア、すなわち「辺境」であり、またもう一つの意味で「最前線」でもあると考えています。

お茶の水女子大学では、「高度な能力を有する博士人材の活躍なくして、さらなる発展はない」との問題意識の中、女性博士人材が大学や研究所の常勤職を得る以外のキャリア形成・支援・開発を行う趣旨で、大学院におけるキャリア教育プログラムの開発と提供を行っております。これは、平成23年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ポストドクター・キャリア開発事業」として採択されています。ここでのポストドクターは、「博士号取得者か大学院の博士後期課程満期退学者」という博士人材を指します。

一般的に結婚や出産、子育てといったライフイベントにより、博士人材となる女性は30歳以上の方が多くなりますが、年齢を重

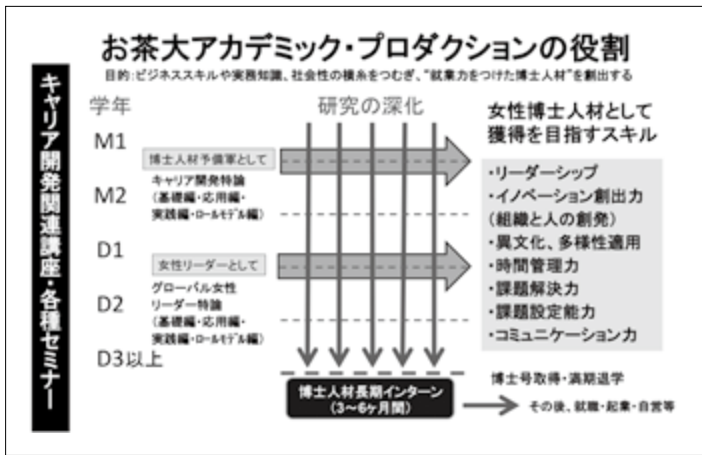
ねると初職としての企業への就職は厳しくなっています。一方、大学や研究機関への就職は従来以上に狭き門となり、ますますキャリア構築が困難になります。

私の仕事は、優秀で道を究めている女性博士人材に向き合い、伴走しながらキャリア形成・開発のお手伝いをすることです。具体的には、従来にない効果的な「キャリア教育」の導入で人材を養成し、企業等へ3ヶ月以上の長期インターンシップとして派遣しています。企業と博士人材の双方の希望を聞き取り、期待に齟齬がないように調整するほか、単なる座学ではなく、ワークショップやPBL(課題解決型授業)を通して、キャリア開発を考え、「産官学民」の各セクターの現状を知るための実践的講義、自身のロールモデルとなる博士人材の講義、また即効性の高いビジネスマナー講習など、様々な科目を主体的に学ぶことで、今後のビジョンを明確にしてもらい、女性リーダーとしての自覚と自信を持ってもらいます。博士人材の持つ研究の専門性を極めることの

できる才能を縦軸とすれば、そこへキャリア教育プログラムによる社会性の横軸を入れることで、キャリアビジョンをより“強固に明確に”していきます。

元々、日本企業は、営業職だけでなく、研究・開発職も含め「学部卒」もしくは「修士卒」での採用が基本でした。企業が「博士号」が必要と判断したら、自社の社員を派遣して取得させる“自前の”企業文化・慣習があったからです。博士人材は研究を通して“創造や解決”ができ、一つの体系を築けるような逸材ではありますが、就職活動においても大企業では「博士号取得者の給与テーブルがそもそも会社になく、特別に作ることもなかなかできない」と硬直的な話になったり、視野に入っていないところが少なくありません。1990年代初頭の「バブル崩壊」までの単線思考の労働慣行・人事政策(新卒一括採用、年功序列、終身雇用)の成功体験を未だに引きずってしまって、なかなか変革できないでいるとも言えます。

「新商品や新サービスの開発が大事」「日



本ではイノベーションが生まれにくい」とは、よく聞くフレーズですが、飽和状態の市場で利益を生み出そうとすれば、新しい事業を立ち上げることが必要となってきます。ゼロから何かを生み出す作業は「発見」と「創造」ですから、地道な研究作業と似通った部分があり、博士人材の持つ資質は移転可能なスキルであると言えるでしょう。

インターンシップのメリットは、受け入れ企業には博士人材の専門性だけでなく、その潜在能力の高さを知ってもらう機会となり、派遣される博士人材には企業の組織メカニズムを体感できる機会となり、その後の就業力が確実に高まります。実際に、受入企業である人材教育戦略コンサルや政策シンクタンクに、そのまま就職した女性留学生のケースも出てきました。

政府は「2020年に指導的地位に占める女性の割合を30%にする」という目標を掲げています。日本社会で女性が力を発揮できにくい環境があり、博士人材が活躍できないのは人的資源の大きな損失であり、余りにもったいないと思います。これからの女性博士人材のキャリアは、企業が採用してくれないなら、既存の枠にとらわれず、「Job Seeker(仕事探し)」から「Job Creator(仕事づくり)」へと、自らの能力や価値を広げ、起業も含めた複数の選択肢ができるような人材を養成していくことが肝要と考えています。

### 女性留学生“博士人材”の活躍のために

2008年に、海外からの留学生数を2020年に30万人にしようという「留学生30万人計画」が始まりました。この年を分岐点に、それまでの「国際交流、国際貢献」から、「グローバル戦略」展開の一環として「国際的な人材確保と戦略的な受入」に方針がシフトしました。その背景には、日本企業が積極的

に外国人留学生を採用・活用し、国際競争力を強化することで、日本の国力を維持しようという戦略です。また、大学等の教育研究の国際競争力を高め、優れた留学生を戦略的に獲得しようと、関係省庁・機関等が総合的・有機的に連携しよう

としています。

しかし、そのような高等教育機関で育成される外国人留学生の「グローバル人材」は、日本企業を希望しない層も増える中、依然約6割が日本での就職を希望してくれています。一方、日本国内企業の採用姿勢に変化は小さく、実際に就職できたのはそのうちの3割弱で、そのほとんどが学部卒か修士卒の留学生だったようです。\* 博士人材には、門戸を閉ざしているというより、意識すらしていない企業が圧倒的です。日本に留学後に博士人材となった人数は、今年3月に文部科学省から発表された平成24年度の修了者への「第1回日本博士人材追跡調査」から推察すると、外国籍が回答率で16.1%だったので、16,445人のうち2,650人規模です。また通常その3割が女性ですので、女性留学生博士人材はおおよそ800人と推測しています。つまり、今後も毎年800人規模の優秀な女性留学生博士人材が誕生するので、彼女たちが情報交換できうるネットワークと協働が構築できれば、後に続く後輩のキャリア形成に大きな力になると考えています。

### 留学生の導入教育としての日本語教育機関の在り方

最後に、今後の日本語教育機関に対する期待をまとめたいと思います。今後、日本が留学生として期待している国は、「世界の成長を取り込むための外国人留学生受入れ戦略」(戦略的な留学生交流の推進に関する検討会、2013)によると、東南アジア(ASEAN)、ロシア、アフリカ、中東、南西アジア、東アジアとなります。これらのトレンドは続くでしょうし、今後の開発途上国の人口増を考えると、やはりインドネシア、インド、ベトナムが注目されます。そして、そ

れぞれの言語と日本語に習熟した講師の育成と成長が待望されます。また日本語教育機関に期待したいのは、そこで学んだ日本語の習熟度合いが、留学生の次のキャリア形成や将来の成功に重大な影響を与えるという使命感を持っていただくことです。前年比で倍増しているベトナムやネパールの留学生においては特に言えることでしょう。

たとえば、より日本語を使用する機会を増やし学習効果を高めるため、日本語で無償インターンシップやボランティアなどを楽しむ「immersion教育」のようなプログラムの導入も検討課題だと思います。大学側も入学前から寮の空き部屋を提供をするなど柔軟に対応すべきです。しかし何より留学生にとって、「最初の出会い」である日本語教育機関の役割は大きく、留学生達の次のステップである日本の大学や大学院入学に深く関わり、彼らのその後の人生を大きく変える可能性があると言わざるを得ません。関係者には、「釈迦に説法」ですが、今一度そのような視点から、留学生に接していただければと考えます。

キャリアは、L・サニー・ハンセンが提唱する「パッチワーク理論～人生の4つの役割(4L)」が大事だと思います。4Lとは、すなわち「労働(labor)」「愛(家庭と子育て、love)」「学習(公式・非公式の教育、learn)」「余暇(仕事外活動、leisure)」であり、これらの要素がバランスよく保たれてこそ、人は豊かに人間らしく生きられます。日本語を学ぶ皆さんが日本での経験を経て、それぞれの人生の4つの役割を一層充実させていかれることを心から、祈念しています。

\* 参考文献

独立行政法人 労働政策研究・研修機構『留学生の就職活動—現状と課題—』2013年

砂田 薫 (すなだ かおる)

お茶の水女子大学特任准教授、早稲田大学招聘研究員(価値創造マネジメント研究所)、朝日新聞社社員。慶應義塾大学卒業。朝日新聞社入社後、国立ダブリン大学マーケティング修士課程修了。東京工業大学大学院博士後期課程イノベーション専攻単位取得満期退学。1995年に初代の朝日新聞社広告局シンガポール駐在として、事業所立ち上げ。デジタルメディア部長、メディア推進部長等を歴任。関連会社数社の非常勤取締役を併任。

このコラムでは、学習者の視点での話題をお届けします

## ネパールで学校をつくりたい

—留学生支援の会社で働くエンピさんに聞きました

### —日本に来ることになったきっかけは？

大学生の時に、一人の日本人男性に出会ったのがきっかけです。ある日、カトマンズの街の道端で、ごみを拾っている60代くらいの外国人男性がいました。なぜ外国人が掃除しているんだろうと、驚いて英語で声をかけました。すると、その人は日本人だと言います。ごみを拾っている理由を聞くと、『私はあなたの国を掃除しているわけではない。自分の身の回りがきれいになったら、自分の心がきれいになるんだ』と答えました。私はすごく恥ずかしくなって、それから、日本はなんてすごい国なんだろうと思いました。

その頃私は、欧米への留学を考えていました。しかし、その日本人男性との出会いから、日本に興味を持ち、日本の戦後の復興の速さ、経済成長の歴史を知り、日本への留学を決めました。それから、カトマンズで2年間日本語を勉強し、九州の日本語学校に入りました。

### —日本語の勉強はどうでしたか。

大学2年生の時に、日本語能力試験1級に合格したのですが、自分の思うほど日本語が話せないという悩みがありました。そこで、日本語の力をつけるために目標を二つ立てました。

一つは毎日一人、知らない日本人に声をかけること。講義の時、隣の学生に話しかけたり、町で駅員や警察官に質問したり、道端で道をたずねたりしました。皆、親切に教えてくれました。

二つ目は本を読むことです。ネパールでは教科書以外の本を読んだことはありませんでした。初めは漢字が読めなくて、1冊読むのに1ヶ月かかりましたが、大学4年生の頃は2、3日で1冊読んでいました。結局、卒業時には500冊を読み終えました。ほとんどの本は大学の先生に譲ってもらったものや、中古で買ったものです。



### エンピ・カンデル

1983年生まれ。ネパール・チタワン出身。カトマンズの大学を中退し、2005年10月来日。佐賀県鳥栖市の弘堂国際学園で日本語を学ぶ。杏林大学総合政策学部を卒業後、2013年9月より株式会社モノカイで留学生支援に携わる。2012年、2013年八王子国際交流フェスティバル実行委員長。

### —サークル活動などはしていらっしゃったんですか。

少林寺拳法と掃除のボランティアサークルですね。アルピニストの野口健さんがエベレストを掃除していることに恩を感じて、私もお返しに富士山を掃除したいと思いました。そこで、ボランティアサークルを作り、大学の友人や知り合いの社会人と一緒に活動を始めました。一番初めの活動は22名で、八王子駅周辺と川沿いを掃除しました。社会人の知り合いのついで、市役所の方を紹介してもらい、広報誌や新聞で活動を取り上げてもらったりしました。卒業時には会員が60名にもなり、富士山清掃も5回できました。掃除しながら、いろいろな方と話すことで、異文化交流もできたと思います。

### —どのようなお仕事をされているのですか。

留学生と企業のマッチングをする会社に勤めています。就職活動している学生には、模擬面接をして、アドバイスしていますが、

目標は内定ではなく、学生の企業での活躍です。留学生が就職してからも、企業に赴き、アフターフォローをしています。採用に苦勞している企業と就職活動で悩む学生をつなげたいと思っています。

### —今、学校で日本語を学んでいる方へメッセージをお願いします。

将来活躍するためには、目標を定め、そこに向かってどのようにステップアップしていくか、明確なビジョンを持つこと、自分から積極的に活動することが必要だと思います。

日本人と就職で競争するためには、日本語は絶対に必要ですが、仕事で必要なコミュニケーション力というのは外国語ができることではありません。相手と話しながら、ニーズをくみ取り、気持ちを慮った行動ができるかどうかが大事です。学生時代に様々なコミュニティで、多くの人と交流することが就職につながるのではないかと思います。

### —将来の夢を聞かせてください。

いつか世の中を紛争のない、皆が幸せに暮らせる社会にしたいです。私一人だけで世界を変えることは難しいですが、教育にはその力があると思っています。ですから、35歳で起業して資金を作り、40歳でネパールに小学校から高校までの一貫校を作りたいと考えています。50歳でリタイアして、世界中を旅行し、様々な世界を見て、子供たちに伝えたいと思っています。私は死ぬ日を75歳の誕生日と考えています。その時に1,500人の教え子を作りたい、それが私の最終目標です。

去る4月25日(土)に、ネパール連邦民主共和国において、大地震による未曾有の大災害を被られたことに対しまして、心より深くお見舞いを申し上げます。尊い命を落とされた多くの方々に、謹んで哀悼の意を表します。一刻も早い復興を、ひとえにお祈り申し上げます。



日本語ご紹介

国内編

宮城県 名取市



## 災害時の日本語講座の役割

国際交流協会ともだち in 名取 副会長

板橋和子

私たちの団体は、2007年から名取市の市民活動支援センターで主に生活者に向けた日本語講座と多文化交流を行っています。毎週月曜日の午前中に2時間の日本語講座を開講し、現在は9カ国からの学習者が学んでいます。毎年、地域の協賛会員企業の方々と共に田植えや稲刈りの体験会、学習者の子供を交えた夏休みの行事などを行います。名取市は、仙台市に隣接するベッドタウンで農業、漁業、水産業も盛んです。東日本大震災のときに、大津波が美しい田畑を飲み込んでいく映像が流れましたが、まさにあの場所が名取市です。震災が私たちの活動に及ぼした影響は、たいへん大きなものでした。活動拠点であった支援センターの建物が全壊しました。教材と会員の記録ファイルを持てるだけ持ち出し、コピー機などの事務機器は諦めました。その後の約2年間は大変な混乱の中での活動になりました。しかし、私たちが経験したことは、地域で日本語講座を運営している団体のどこにでも起こり得ることではないかと思います。

### 震災直後のようす

ともだち in 名取が名取市から要請を受けて市内中学校体育館の避難所の運営支援を始めたのは震災から5日後の3月16日でした。3ヶ月後の6月6日に宮城県国際化協会主催で県南の日本語講座が集まって現況を聞く機会がありました。この日、震災後初めて無事な顔を見ることができた会員が大勢いましたが、帰国した人や大きな被害を受けた人もいることがわかりました。宮城県国際化協会は県内各地の海外出身者の安否確認をしていましたが、自治体は個人情報



真剣に学ぶ会員たち。今年の3月までは仮設の建物で講座を開講していました。

保護の観点から、どこにどんな人がいるかを開示することができなかつたので、地域の日本語講座が持っている情報が役に立ったそうです。この日から、県内で最も早く毎週の日本語講座を再開しました。これ以降、講座の運営と震災の被災者支援活動を並行して行うことになり、多文化共生支援部が立ち上がりました。講座を再開した頃は、勉強するというよりも、みんなの顔を見ておしゃべりをして安心できる時間を持つことが一番大事でした。「ここに来ると実家に帰ったような気がする」と言った学習者がいました。不安な生活の中、出掛けていく場所があることで、みんなが一步動き出す元気を出せたように思います。

### 活動場所確保の問題

この頃、日本語講座が直面していた問題は「活動場所」と「会員の移転の多さ」でした。活動拠点の建物を失ったので、新しい活動場所が必要でしたが、市内の公共施設は避難所になっていたり、倒壊の恐れがあって使えなくなっていました。「大きな災害があると公共の施設は使えなくなる」という教訓を得ました。

県内の再開されていない講座から名取に移ってくる学習者も多く、この年の入会者



講座中の託児は欠かせません。多文化共生支援部のメンバーが担当しています。

は13人でした。幸い協賛して下さる企業の建物の一部を活動場所としてお借りでき、各方面からの支援で教本類も集まって講座を続けることができました。企業の建物を使わせていただく時には、使用後の清掃やトイレの使い方、終了後に玄関前で立ち話をしないなど、細かい点にもみんなで気をつけました。

### 防災のためにできること

海外出身者に必要な備えだと感じたのは言葉と習慣の知識です。例えばテレビ画面に給水車の情報のテロップが流れていても「〇〇公民館」という文字と場所が分からなければ行けません。「水は無料だけれど容器は持参する」というルールを知らなければ適切に行動できません。周りの人が支援物資をもらっていても、「並ぶ」というルールがわからないために自分は日本人じゃないからもらえないのだと考えて、辛い思いをした人もいます。そういう時に、日頃から声を掛け合える人が一人でもいたら、状況は全く違ったでしょう。「知識」と「仲間」が自分を助けてくれます。震災から4年経った今年の4月、プレハブの施設を出て、再建された支援センターの広い部屋で日本語講座ができるようになりました。これからも日本語の学習と地域の人達との交流を活動の柱にして活動を続けていきたいと思っています。



日本語ご紹介

海外編

インド ケララ



## 研修経験を今につなぐケララ同窓会

AOTS ケララ同窓会

デービス・セバスチャン

エーオーティーエス  
AOTS ケララ同窓会は、AOTS（財団法人海外技術者研修協会）[現 HIDA（一般財団法人海外産業人材育成協会）]で技術研修や管理研修など受け、帰国した研修生によって自主的に組織された NGO で、世界 71 か所にあるうちのひとつです。私も研修を受けた一人で、『新日本語の基礎』の会話ビデオにラオさん役として、出演したこともあります。

AOTS ケララ同窓会は 1968 年から活動を開始し、現在は 300 名を超える会員がいます。1995 年に「日本ケララセンター」を設立し、主に日本語教室の運営や日本的経営手法普及のための活動や産業支援活動、日本文化交流事業などを行っています。

### 30年近く続く日本語教室の運営

特に日本語教室は一番大きな活動の一つです。学習者は学生だけでなく、ビジネスマンや一般の方まで様々です。日本ケララセンターのほか、近隣のコチ市、アルバー町でも授業を行っています。授業は『みんなの日本語』などを使い、会話を中心に教えています。また、日本ケララセンターを訪れる日本人と触れ合う機会を、積極的に作るようにしています。

各教室は二つのレベルのクラスがあり、各クラス約 6～10 人の学生が勉強しています。週 6 時間のクラスで、プログラム全体で 150 時間のコースです。また、企業のニーズに合わせたビジネス日本語の集中コースや日本語能力試験対策コースも実施しています。

### インド人と日本語

インド人にとって日本語の会話は比較的



日本ケララセンターは同窓会会員から寄付金を募り、建設されました。



『新日本語の基礎』の登場人物ラオさんを演じた筆者は現在 IT 企業を経営しています。

易しく、すぐに上達します。それはヒンディー語をはじめ、インドの言語の発音が五十音に似ているからです。ただ読み書きになると、漢字の文化がある中国人や韓国人と比べ、インド人の上達は遅いです。ですから絶えず努力して、継続して勉強を行う必要があります。日本語が好きで学んでいる人もいますが、多くの人は将来自分の仕事に結びつけるために日本語を勉強しています。役に立つのであれば、特に何も言わなくてもインド人は勉強するのです。

また日本語を学ぶ学生数は、単純に言うと、日本の経済力の上がり下がりによって大きく左右されます。インドでは広く英語が使われているため、若いうちから英語を学びます。まず最初に英語を学び、その次に

ドイツ語、フランス語や日本語を習うような形になります。最近になってまた日本語を勉強をしようという人が多くなってきているようです。

私の経営するインドコスモシステムという会社は日本企業と取引があるため、会社で継続的に日本語を教えています。社員は学習意欲はありますが、日常会話まで学ぶと、それからの進歩はインドにいる間はなかなか伸びないのが現状です。日本へ行くとなると、皆一生懸命勉強します。

### ビジネスから文化交流まで

同窓会では日本語教室だけでなく、様々な仕事をボランティアで行っています。日本研修プログラムの参加者を募集し、その中から適切な人材を日本へ派遣するほか、地元の中小企業に、日本での研修で習得した日本的な経営の指導や技術コンサルティング、5S 研修や品質管理の講座などを行い、地元企業の発展や生産性の向上に役立つような活動をしています。またインドにおける熟練労働者不足の問題を解決するため、政府機関と連携して地域に焦点を当て活動しています。

そのほか、HIDA 総合研究所と提携し、日印両国間のビジネス推進のためのトレードミッションも行っています。同じように両国の地方自治体レベルでの行政官の交流や商談などを行っています。

文化交流事業では日本から様々な団体をインドへ招き、ケララでコンサートを主催したり、琴や太鼓、日本人形の展示会など様々なイベントを主催しています。また在チェンナイ日本領事館に支援していただき、生花や折り紙などの勉強会、日本映画祭なども開いています。

今後も様々な活動を行いながら、日本との交流を続けていきたいと思っています。

# 教材紹介

## 『イラスト満載！ 日本語教師のための活動アイデアブック』

小山悟 著

本文 138 頁 (予定) CD-ROM 付 2,600 円 + 税 10 月発売予定



## 楽しく、わかりやすく、役に立つ授業のために

九州大学 留学生センター 准教授

### 小山悟

本書は、学習者と教師が共に考え、楽しく学べる活動を紹介し、授業の進め方を詳しく解説したものです。国内外のどの教育機関でも使用可能ですが、執筆に際し、特に意識したのは地域の日本語教室で教える先生たちのことでした。なぜならば、地域の日本語教室で教えることは非常に難しく、条件も厳しいと思うからです。それは、例えば以下の点です。

1. 学習者がいつ教室に現れ、いつ来なくなるかわからないこと
2. 学習者のレベルが様々で、母語もバラバラであること
3. 学習の目的や意欲の点でも個人差が大きいこと
4. 授業は週に 1 回、90 分または 120 分というところが多いこと

### 課題中心の授業作り

そこでまず考えたのは「休まず行きたくなる楽しい授業」にするということでした。それには 1 つ 1 つの活動が学習者に考えることを要求するものでなければなりません。すぐに答えのわかってしまうものや想像力を

かき立てられないものを人はおもしろいとは感じないからです。そこで、授業を「存在文」や「比較」、「テ形」などの文型導入中心から「かばんの落とし主がどんな人かを推理する」や「旬の食材を使った献立を考える」などの課題中心に変え、各課題で必要となる文型をその都度取り上げて練習する教材を考えました。そして、「1 日 1 課題」を原則とし、その日の課題はその日のうちに完結させるようにすれば、途中で誰かが抜けても、またその逆に誰かが新しく入ってきても困ることはありませんし、レベルの異なる学習者がいっしょに学ぶこともできるようになります。例えば同じ自己紹介でも、初心者には「私は A です。会社員です。趣味は読書です」と話すことを要求し、辞書形やテ形を知っている学習者には「病院で働いています」や「趣味は映画を見ることです」のように話すことを要求するというように、それぞれのレベルに応じた目標を設定すればよいからです。

### 本書の構成

本書は全 20 課構成で、各ユニットは「レベルチェック」「活動」「リスニング」の 3 つのパートから構成されています。付属 CD には、活動のための「学習者用シート」や「文法学習用プリント」、「学習記録シート」などのデータのほか、リスニングの音声収録されています。

### 授業の進め方

①レベルチェック：学習者にイラストに描かれた内容を説明させ、次の活動で必要となる文型や語彙をどの程度知っているか、確認します。ユニットごとに具体的なレベルチェックの方法と手順が詳しく書いてあるので、教師はこれを参考に学習者のレベルと

到達目標を設定します。

②活動(1 回目)：イラストを見ながらグループまたは個人で課題に取り組み、各自の考えを日本語で表現します。ここでは学習者に考えさせることを重視し、新たな文型や語彙の導入はしません。

③プリント学習：レベル別に 4 ～ 5 段階に分けられたプリントを使って、個別に文型の学習をします。『みんなの日本語初級』で扱っている学習項目に関しては、該当する課が示されているので、『みんなの日本語初級 第 2 版 翻訳・文法解説』などで説明を読むことも可能です。プリントを使うことで、レベルの異なる学習者に同時進行で異なる文型を教える教師の負担を軽減し、学習者の自主学習を促します。

④活動(2 回目)：プリントで学習した文型を使ってもう一度各自の考えを話させます。

⑤リスニング：ナチュラル・スピードの会話を聞いて、初心者にも答えられる簡単な質問(例、「かばんの中に何が入っているかを聞き取る」)をします。初心者以外の学習者には教師が各自のレベルに合わせた質問(本冊参照)をし、より細かな部分まで聞き取らせます。

⑥応用：ユニットのテーマに関連した話題を提供し、活動を広げます。

本書で提案する「活動」中心の授業は、文型積み上げ式の授業に慣れた方には最初少し戸惑いもあるかもしれません。しかし、先に述べたような厳しい条件の中でも、学習者と教師双方にとって「楽しく、わかりやすく、役に立つ授業」を実践するためには、このような「学習者と教師が共に考え、学ぶ」というアプローチが最適だと考えました。思い切ってチャレンジしてみませんか。



(上) 本冊

(下) 学習者用シート

# 文章中の語彙の初出課を判定するシステム 「みんなちえっかー(仮)」

甲南大学 知能情報学部 知能情報学科が開発した「みんなちえっかー(仮)」は、授業の進捗に合わせた語彙コントロールを支援するウェブシステムです。このシステムは『みんなの日本語初級Ⅰ 第2版』、『同Ⅱ 第2版』に準拠しており、文章中の語彙の初出課を知ることができます。ウェブブラウザ上のテキストボックスに文章を直接入力、またはコピーペーストし、任意の課を選択すると、当該の課までの既習語と未習語が色分け表示され、さらに語彙ごとの初出課がリストアップされます。本システムを利用することによって、『みんなの日本語初級』を利用した授業において、例文や試験問題作成などに要する時間と手間の大幅削減が期待できます。ぜひご活用ください。

ウェブサイト URL : <http://basil.is.konan-u.ac.jp/cgi-bin/minna.cgi>

## みんなちえっかー(仮)の使用例

『みんなの日本語初級Ⅱ 第2版 本冊』の30課を終え、31課に入る前の確認用のテストをMS Wordで作成しました。テスト問題が30課までの語彙で作成されているかをチェックします。



1 「みんなの日本語倶楽部」(<http://ほんご.みんな1/>)からみんなちえっかー(仮)を開きます。



4 みんなちえっかー(仮)の左のテキストボックスにコピーしたテキストを貼り付けます。



7 ボックスの下には判別された言葉とその初出課のリストが表示されます。『みんなの日本語初級 第2版』で取り扱われていない言葉は「なし」と判定されます。

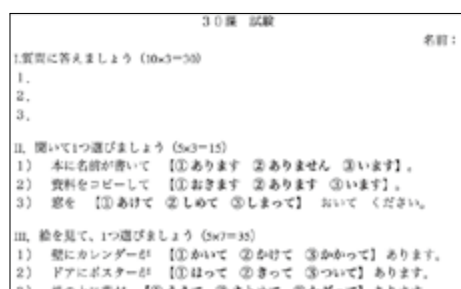


2 クリアボタンを押して左側のテキストボックスに何も入力されていない状態にします。



5 30課までの語彙をチェックする場合は31課を選択します。

このシステムで判定される語彙は『みんなの日本語初級 第2版 翻訳・文法解説 各国語版』各課の1～2ページ目(「ことば」のページ)に掲載されている語彙です。「ことば」のページに掲載されていない文法項目(助詞や後続句など)や、「こちらは～です。」のように「～」が入っている表現は判定されず、「なし」となる場合があります。



3 MS Word ファイルのテキストを全て選択し、コピーします。



6 チェックをクリックすると左側に入力されたテキストが右側のボックスに黒(既習語)と赤(未習語)で表示されます。

これで30課の語彙が適切に入っているか、試験で用いられるその他の言葉がやさすぎないか、未習語彙がないかが瞬時に判別できました。

判別の精度はまだ保証できるほどではなく、まだ改善点がありますが、皆様の教材作成の一助になれば幸いです。

ご意見・ご感想、不具合などの報告はみんなちえっかー(仮)フォーラムまでお寄せください。

(<https://facebook.com/MinnaCheckerForum>)



# なんでも情報 BOX

## Books ほん

すべて本体価格です

イラスト満載! 日本語教師のための活動アイデアブック	10月発行予定	2,600円
日本語教育叢書「つくる」教科書を作る	10月発行予定	1,800円
新完全マスター読解 日本語能力試験N3 ベトナム語版	11月発行予定	1,400円
新完全マスター文法 日本語能力試験N4 ベトナム語版	11月発行予定	1,200円

## Seminars

### セミナー

#### 日本語教材まつり 2015 in 札幌

##### 「日本語教育の読み書きを考える」

日 時：8月29日(土) 10:00～16:20

(受付開始 9:30)

内 容：【基調講演：語彙読解システムの構築  
—1万語覚えよう!—】

山内博之(実践女子大学文学部国文学科教授)

【セミナー①楽しく「読み書き」の活動を進める  
ために】

澤田幸子(一般財団法人海外産業人材育成協会  
(HIDA) 日本語講師)

【セミナー②子どもたちが漢字が大好きになる  
秘訣～「かんじ 大好き」シリーズを使って】

関口明子(国際日本語普及協会(AJALT) 理事長)

【セミナー③読解につながる文字学習】

本田弘之(北陸先端科学技術大学院大学教授)

会 場：札幌コンベンションセンター中ホール  
(札幌市白石区東札幌6条1-1-1)

定 員：200名(先着順。定員になり次第、締  
切りします)

参加費：北海道日本語教育ネットワーク会員 無  
料、非会員 500円(税込)

問合せ/申込み先：凡人社営業部(担当：坂井)

TEL：03-3263-3959 FAX：03-6733-7887

E-mail：ksakai@bonjinsha.co.jp

イベント名、開催日時、お名前(漢字・ふりがな)、  
電話番号またはメールアドレスを明記の上、お  
申込みください。

主 催：アルク、スリーエーネットワーク、凡  
人社

共 催：北海道日本語教育ネットワーク

#### 兵庫日本語ボランティアネットワーク

##### 2015年度第1回研修会

##### 「多様化する年少者日本語教育」in 兵庫

講 師：二口とみ彥(一般社団法人HOPEプ  
ロジェクト)

日 時：8月30日(日) 13:30～16:30

(受付開始 13:00)

会 場：西宮市立若竹生活文化会館第2、3集  
会室(西宮市西福町15-12)

定 員：90名(先着順。定員になり次第、締  
切りします)

参加費：会員、学生 500円 非会員 1,000円

問合せ/申込み先：HNVN 研修会担当 後藤

TEL：090-4296-4648

FAX：078-741-3465

Email：hvnv.kobe@gmail.com

申込みメ切：8月23日(日)必着

お名前・ご所属・ご住所・お電話番号・E-Mail  
アドレス・交流会参加の可否を明記の上、FAX、  
またはE-Mailでお申し込みください。会員・学  
生の方は、お申し込みの際お知らせください。

共 催：兵庫日本語ボランティアネットワーク、  
スリーエーネットワーク

#### 新刊説明会『日本語読み書きのたね』in 東京

講 師：澤田幸子(一般財団法人海外産業人材  
育成協会(HIDA) 日本語教師)

日 時：9月26日(土) 14:00～16:00

(受付開始 13:30)

会 場：TKP 麹町駅前会議室 ホール 8A

(東京都千代田区麹町3-2 麹町共同ビ  
ル8階)

定 員：80名(先着順。定員になり次第、締  
切りします)

参加費：無料

問合せ/申込み先：

スリーエーネットワーク講座係

102-0083 東京都千代田区麹町3-4 トラス  
ティ麹町ビル2F

TEL：03-5275-2722 FAX：03-5275-2729

E-mail：kouza@3anet.co.jp

お名前・ご所属・ご住所・お電話番号を明記し  
てください。電話での申込みはお受けできませ  
んのので、FAX、E-mail、はがきにてお申込みく  
ださい。

主 催：スリーエーネットワーク

#### 運用能力を育てる中級レベルの指導 - 『みんな の日本語中級! くり返して覚える単語帳』を中 心に - in 京都

講 師：高梨信乃(神戸大学 留学生センター)

日 時：10月24日(土) 14:00-16:00

(受付開始 13:30)

会 場：京都外国語大学1号館4階141教室

(京都府京都市右京区西院笠目町6)

定 員：80名(先着順。定員になり次第、締  
切りします)

参加費：無料

問合せ/申込み先：

スリーエーネットワーク講座係

102-0083 東京都千代田区麹町3-4 トラス

ティ麹町ビル2F

TEL：03-5275-2722 FAX：03-5275-2729

E-mail：kouza@3anet.co.jp

お名前・ご所属・ご住所・お電話番号を明記し  
てください。電話での申込みはお受けできませ  
んのので、FAX、E-mail、はがきにてお申込みく  
ださい。

主 催：スリーエーネットワーク

## Information

### お知らせ

#### 電子書籍『日英対訳 外国人をサポートするた めの生活マニュアル』、10月下旬配信予定

同名書籍の改訂版が電子書籍として登場。2012  
年7月から完全に施行された改定入管法を始  
め、2010年秋以降の主な法制度の変更を反映さ  
せています。目まぐるしく制度や状況が変化し  
ていく中、「日本で暮らし働くために役立つ、具  
体的かつ実践的な情報を、移住者や支援者に提  
供しよう」という当初の目的は変わらず引き継  
いでいる本書にご期待ください。

編著：移住者と連帯する全国ネットワーク

希望小売価格：2,000円+税(予価)

主な電子書店でお買い求めいただけます。

スリーエーネットワークの電子書籍

[http://www.3anet.co.jp/denshi\\_shoseki\\_top/](http://www.3anet.co.jp/denshi_shoseki_top/)

## Ja-Net No. 74 季刊ジャネット

スリーエーネットワークという社名は、アジア (Asia)、  
アフリカ (Africa)、ラテン・アメリカ (Latin America)  
の三つの地域をネットワークでつなぎ、相互理解と友  
好促進を図ろうという趣旨をシンボライズしています。

2015年7月25日発行

●発行人 藤崎政子

●発行所 (株)スリーエーネットワーク

第一営業部 Ja-Net 編集室

〒102-0083 東京都千代田区麹町3-4

トラスティ麹町ビル2F

TEL: 03-5275-2722 FAX: 03-5275-2729

E-mail: sales@3anet.co.jp

<http://www.3anet.co.jp/>

●印刷 日本印刷(株)

© 2015 by 3A Corporation Printed in Japan

(禁断転載)

●『Ja-Net』をご希望の方はお名前・ご住所・ご所属を編  
集室までお知らせください。無料でお送りいたします。  
『Ja-Net』第75号は2015年10月25日発行です。